

PCB廃棄物の早期処理に向けた環境省の取組

令和3年2月
環境省 環境再生・資源循環局
ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進室

高濃度PCB廃棄物処理事業の進捗状況

- JESCOには、令和2年12月末(速報値)時点で、変圧器 約1.62万台、コンデンサー 約36.8万台の計約38.4万台が、処理対象として登録等されており、このうち変圧器 約1.57万台、コンデンサー 約35万台の計約36.6万台を処理した。
登録台数に対する処理の進捗率(全国平均)は、変圧器約97%、コンデンサー約95%である。
- 安定器・汚染物等については、約1.9万トンが登録されており、このうち約1.4万トンを処理した。
登録量に対する処理の進捗率(全国平均)は約73%である。



令和2年12月末(速報値)時点の
処理の進捗率

北海道・東京事業(令和6年3月)
安定器・汚染物等 69%

JESCO北九州事業(平成31年3月)
変圧器類 100%【処理完了】
コンデンサー類 100%【処理完了】

JESCO大阪事業(令和4年3月)
変圧器類 99%
コンデンサー類 97%

JESCO北海道事業(令和5年3月)
変圧器類 97%
コンデンサー類 94%

北九州・大阪・豊田事業(令和4年3月)
安定器・汚染物等 78%

JESCO東京事業(令和5年3月)
変圧器類 94%
コンデンサー類 88%

JESCO豊田事業(令和5年3月)
変圧器類 97%
コンデンサー類 98%

()は計画的処理完了期限

北九州事業エリアにおいて事業終了後に発見されたコンデンサー等（概要）

概要

- 北九州事業地域における変圧器・コンデンサー等は、平成16年からの15年間で、約12,000事業者の、変圧器約3,000台、コンデンサー約59,000台の計約62,000台を処理し、平成31年3月に計画通り処理を完了。
- 一方、JESCO北九州PCB処理事業所の受入終了後に新たに発見されたため、保管事業者において保管を継続している案件が242件存在する（令和3年1月末現在）。

月別新規発見数の推移



種類別

変圧器	0件
コンデンサー（自家用）	141件
コンデンサー（非自家用）	89件
PCB油（試薬等）	12件

事業者別

公共	33件
民間	209件

- 今後期限を迎える他地域において、事業終了後に新規発見される事例が生じることのないよう、事業終了後からこれまでに発見されたコンデンサー等の期限後発見の要因分析等を実施。
- 発見された機器等については、種類、量、性状等を踏まえ、今後の適切な対応を検討。

掘り起こし調査の進捗状況(令和2年12月末時点)

自家用電気工作物設置者を対象とした調査

- 大阪・豊田・東京・北海道事業地域では、約66万事業所を対象に調査を実施中。
 - ・回答率は約97% (令和2年9月末時点では約95%)、未回答は約2万事業所。
 - そのうち大阪事業地域のみは、約14万事業所が対象、回答率は約100%、未回答は186事業者
 - ・令和2年12月末時点で24自治体中、21自治体が調査完了と回答
- ※ 北九州事業地域では、約20万事業所を対象とした調査を平成30年1月に完了。
 - ・調査完了は変圧器・コンデンサー等の処分期間末(平成30年3月)の2ヶ月前。
 - ・未回答者への最終通知が多かった自治体は、処分期間後の新規発覚も多い傾向があった。

照明器具安定器についての事業用建物を対象とした調査

- 北九州・大阪・豊田事業地域では、約106万事業所を対象に調査を実施中。
 - ・調査情報到達率は約92%、回答率は約100% (令和2年9月末時点では約94%)、未回答は617事業所
 - ・これまでのところ調査対象の約0.7%からPCB安定器有との回答(PCB有の1事業所あたり約39台)
 - ・令和2年12月末時点で73自治体中、62自治体が調査完了と回答
- 大阪事業地域のみでは、約32万事業所を対象に調査を実施中
 - ・調査情報到達率は約89%、回答率は100% (令和2年9月末時点では約97%)
 - ・令和2年12月末時点で全ての自治体が調査完了と回答
- 北海道・東京事業地域では、約101万事業所を対象に調査を実施中。
 - ・調査情報到達率は約73%、回答率は約50%、未回答は約49万事業所。

- **処分期間末まであと約1ヶ月。**安定器について、最終通知発出後の未反応事業者への電話等による確認など、全量掘り起こしに向けた対応をあらためてお願いしたい。
- 変圧器・コンデンサーについて、PCB機器を保有するおそれのあるJESCO未登録台帳への掲載事業者への確認についてもあわせてお願いしたい。